

第 12 回定例教育委員会 会議録

開催月日 平成29年12月20日（水）

開催時間 午後 3 時 00 分から午前 4 時 10 分まで

開催場所 教育委員会室

出席委員 教育長 守屋 守
教育長職務代理者 飯室 元邦
教育長職務代理者 和田 一枝
委員 野田 清紀、三塚 憲二

出席職員 教育次長 若林 一紀
教育監 渡井 渡
教育監 奥田 正治
学力向上対策監 佐野 修
次長（総務課長） 末木 憲生
福利給与課長 諏訪 桂一
学校施設課長 望月 啓治
義務教育課長 嶋崎 修
高校教育課長 手島 俊樹
高校改革・特別支援教育課長 成島 春仁
社会教育課長 岩下 清彦
スポーツ健康課長 前島 斉
学術文化財課長 百瀬 友輝
国体推進室長 三井 勉
企画調整主幹 藤原 鉄也
政策企画監（総務課課長補佐） 武井 俊人
総務課課長補佐 若月 衛
総務課課長補佐 望月 勝一
総務課副主幹 保垣 利恵

高校教育課
人事管理監 廣瀬 浩次
主幹・管理主事 初鹿野 仁
副主幹・指導主事 饗場 浩

傍聴人 0 名

報道 1 名

会議要旨

〔 教育長開会宣言 〕

教育長から武者委員が都合により会議を欠席する旨の届け出があったとの報告があった。
議案第35号及び報告事項（10）については、個人情報に関することであるため非公開とした旨が教育長から発言され、出席委員全員が了承のうえ非公開とした。

- 議案なし
第35号 職員の処分について
（非公開）
〔説明〕 高校教育課

【原案どおり決定】

- 報告事項
(10) 平成30年度採用山梨県立学校実習助手（工業）及び山梨県立特別支援学校寄宿舎指導員選考検査結果について
（非公開）
〔説明〕 高校教育課

【 了 知 】

3 その他報告

- (13) 平成30年3月公立高等学校卒業予定者の就職内定状況(10月31日現在)について
[説明] 高校教育課

- 野田委員 工業科から76名、県外で内定となっているが、どの都道府県なのか、また、具体的な業種は。
2点目、全体において正規・非正規の割合はどうか。
- 手島課長 県外への内定状況は、東京都に41名、静岡県に14名、その他愛知県、大阪府、長野県、埼玉県に4~5名となっている。自動車関係や大手ゼネコンが多い。
採用形態はすべて正規雇用の就職内定者とみていただきたい。
- 飯室委員 県外上場企業では採用のスタートが早いので、早めに県内企業からの求人を求める必要がある。県内では人手不足で困っているところも多い。
- 手島課長 早期求人については、3者連名の要請でも行っているが、県内企業は下請けが多く、元請けの許可を得てから採用活動を行っているところもあるので、難しいところもある。
- 和田委員 定時制からの就職率が低い、定時制に通っている不登校や発達障害の子どもたちの進路が心配である。卒業後、引きこもりにならないような指導を希望する。
また、就職するとフルタイムで働く必要があり、朝から学校に行けずに定時制に通っている子どもたちはその点に不安を感じ、発達障害の子はコミュニケーションがとりにくいことから不安を抱えている。来年度から中央高校の通級学級でスキルトレーニングが行われると聞いているが、他の学校でも導入し、引きこもりにならないような、少しでも社会に貢献できる実感を持たせるような指導をお願いしたい。
- 手島課長 定時制でもインターンシップを取り入れるなど就職指導に力を入れている。一方、在学中アルバイトを行っている生徒がいるが、正規に就職することにより賃金が下がったり、勤務シフトの自由度が減ったりといったマイナス要因が目につき、正規雇用を求めない生徒もいて、課題となっている。1つ1つの課題の解消に向けて、どのような策が有効なのか検討していきたい。

【 了 知 】

- (14) 平成30年県下市町村の「成人式」について
[説明] 社会教育課

- 三塚委員 新成人数の減少は全国と比べてどうか。
- 岩下課長 特に比べていない。
- 和田委員 県外へ進学・就職した者の参加率はどうか。
- 岩下課長 参加率は把握していないが、一部の市町村では小中学校の卒業生名簿から招待状を出すなどしていると聞いている。
- 和田委員 県内への就職のために、県外の学校に通っている者等に対する県内企業のPRはできないものか。
- 岩下課長 市町村に話しをしていく。

【 了 知 】

〔 教育長閉会宣言 〕

以 上